

神保町

どくろ通り

平成二十九年 建築&デザイン総合演習

神保町を探り、元気するプロジェクト



▶ 酒瓶パッケージ提案 (Bチーム)



▶ さくら通り道路イメージスケッチ (Aチーム)

A さくら通り
ストリートデザイン

B さくら通り
咲蔵×既存ビルのコンバージョン計画

C さくら通り
サクシネマ×複合施設の新築計画

平成二十八年度 共立祭展示発表
神保町フォトコンテスト



▶ サクシネマ模型 (Cチーム)



▶ さくら通り街灯イメージ (Aチーム)



建築&デザイン総合演習 演習報告書

担当 堀・林田・高橋・メイン・林

■建築&デザイン総合演習

―ワークショップ型演習

共立女子大学建築・デザイン学科は、生活に必要な「空間」と「もの」そしてそこで行われる「こと」を対象としてそれらを総合的に捉え、学び、あるべき姿を提案できるように主に「空間」をつくる建築コースと「もの」をつくるデザインコースで構成されています。「空間」と「もの」は単独では機能しないし成り立ちません。必要な「空間」があってもそこに必要な「もの」が入り、そこで人々が活動する「こと」が起こり初めて生き生きとした場や街となります。その「空間」と「もの」そして「こと」を生活者の立場から具体的な生活の場や街、ひいては生活そのものを提案するのが建築・デザイン学科です。

各コースは身につけるスキル「知」と「ワザ」が異なるため一年次から別々のカリキュラムで、演習（実技）を中心に授業が組まれています。しかし、二つのコースは生活に必要な活動の場を創るという点で切っても切れない関係にあります。この二つのコースが遊離することなく有機的な関係を保つために、三年次に「建築&デザイン総合演習」という科目を設けています。

各コース各分野の垣根を越えて横断的に繋ぐチームを編成し、互いに競い合いながら作品を制作するのがこの演習です。共立女子大学は神保町という様々なポテンシャルを持つ街に位置しています。これからの大学は地域との連携が重要な課題の一つです。「空間」と「もの」は即まちづくりと直結します。建築・デザイン学科はそれを実践できる学科であり、学生にとっても貴重な体験ができるシチュエーションにあります。その地の利を生かし、神保町のポテンシャルを継承しながら、これからの街を持続していくために「街を元気にする」というテーマで、各チームが街を調査、必要な空間・機能・ものを抽出して、具体的な空間とそこで使用する家具やサイン等をトータルに計画し提案することがこの演習の目標です。

2017年度の演習内容は次の通りです。

■神保町の魅力を探り街を元気にするプロジェクト

神保町は、世界の中でも他に類のない程、書店や出版社が集積した特異な街です。街には多くの書店、古書店が軒を連ねています。また、お茶の水周辺には楽器店、靖国通

り沿いにはスポーツ用品店、そして明治大学、日本大学、法政大学、専修大学、共立女子大学などの教育施設があり、文化、芸術、教育が混在した活気ある街となっています。最近では吉本の花月ホールができ、文化情報発信基地としての役割が強まって来ています。年一回行われる古本祭りでは、あふれんばかりの人が集まりとても活気があります。とてもポテンシャルの高い街です。店舗の多くを占める古書店は、個人経営が基本で代々地域の核として街の繁栄とコミュニケーションを担ってきました。個人として特色のある経営をすることで、それが神保町という特色のある街をつくり出していました。しかしながら、古書店にも高齢者の波が押し寄せています。その影響のためか、夜8時過ぎと休日はシャッターが閉じて活気のない街となります。

特異な街が故に、神保町特有の資源があります。ひとつはブックシエルフです。道にはワゴンが置かれ、壁面には本棚が設えられ本が建物のファサードをつくり出しています。ひとつは緑です。下町の雰囲気のあるこの街には、住む人や働く人が管理するケリラの緑、いわゆる路地空間を彩った緑が多くあり街に潤いを与えています。この他にも数多くあるはずですが、これらの資源を発見し活かして行くことがサステイナブルな街をつくる上でとても重要です。

最近では、空地ができるも虫食い状にナショナルチェーンの店ができ、特色のないどこにもあるような繁華街となってきました。

神保町といえば「すずらん通り」で活気があります。それに連続する「さくら通り」はブックフェスティバル等ではイベントがあり開催時は活気がありますが、常時は多少の店舗はあるもののオフィス街のようにあまり活気がありません。しかし、明治時代は靖国神社の通り道で賑わいがあつた通りです。また、

戦災でも皆のバケツリレーで焼けのこるなど地域の結束が強い地域でした。戦後は、東洋キネマという映画館で、古書店とともにとても賑わった文化の発信地でもありました。神保町は先に述べたように古書店を中心とした商業の街です。この街がこれからも活気ある街として継続していくために、さくら通りを含めた神保町の歴史、資源、現状を調査分析し、良い点や問題点を洗い出し、それをもとに神保町の将来像を考えるとともに活性化できる、さくら通りを元気にする具体的な計画案を次のテーマに沿って作成して下さい。

■テーマ 1 さくら通りストリートデザイン

さくら通りの活性化につながるストリートデザインを考えてください。デザインをするにあたり、さくら通りを含めた神保町の歴史、資源、現状を調査（特にさくら通りの歴史調査）、アンケート調査、事例調査を十分行い、それを踏まえて、歩道計画、舗装計画、緑化計画、照明計画、ファサード計画、サイン計画、ストリートファニチャー計画、ロゴマーク等のC1計画などを行う。

【フェーズ1】

●さくら通りを調査・分析する。

さくら通りを含む神保町の歴史（特にさくら通りの歴史調査）、資源、現状を調査（業種、店舗形態、利用者の年齢や属性、街並み、ファサードなど）、アンケート調査、事例調査を十分行い分析する。

資源・現状については、業種、店舗形態、利用者の年齢や属性、街並み、ファサード、など現状の分析をしてこの街を活性化しサステイナブルな街としていくために寄与するストリートデザインをグループで立案する。

【フェーズ4】

●プレゼンテーション

フェーズ毎に発表を行う。最終アウトプットは自由。各グループのコンセプトにそって美しいプレゼンテーションを行う。ただし、全体模型は周辺も入れ街並みを表現すること。商業スペースはインテリアまでわかる模型、行為や空間がわかる具体的なスケッチ、使用される家具など一般の方々にわかる様な具体的な表現とする。

◇計画概要

今回は地図に示すエリアを対象とする。フェーズの順に計画を進める。フェーズ毎に中間発表を行う。最終発表会は、地元の方をお招きし建築・デザイン学科常勤全員で行う。

さくら通りストリートデザイン

- ・Aグループ 「ストリートデザイン」

■テーマ 2

商業スペースを含む共同建て替え

- ・Bグループ 「咲蔵
- ・Cグループ 「既存ビルのコンバージョン計画」

- ・Dグループ 「複合施設の新築計画」

さくら通りを含めた将来の神保町のまちづくりのプロトタイプとなるような建築をデザインして下さい。建築のデザインをするにあたり、さくら通りを含めた神保町の歴史、資源、現状を調査（特にさくら通りの歴史調査、事例調査を十分行い、それを踏まえて、一階から3階までが街を活性化する商業スペース、上階がオフィス、住居等（プログラムは各グループで設定）を計画して下さい。特に商業スペースについては、必要なロゴマーク・家具や食器・サイン・ポスター・地図・スタッフ制服・家具や食器などのプロモーションツールもデザインして下さい。

■テーマ 2

商業スペースを含む共同建て替え

さくら通りを含めた将来の神保町のまちづくりのプロトタイプとなるような建築をデザインして下さい。建築のデザインをするにあたり、さくら通りを含めた神保町の歴史、資源、現状を調査（特にさくら通りの歴史調査、事例調査を十分行い、それを踏まえて、一階から3階までが街を活性化する商業スペース、上階がオフィス、住居等（プログラムは各グループで設定）を計画して下さい。特に商業スペースについては、必要なロゴマーク・家具や食器・サイン・ポスター・地図・スタッフ制服・家具や食器などのプロモーションツールもデザインして下さい。

【フェーズ1】

●さくら通りを含む神保町を調査・分析し、将来の活性化にも繋がるプログラムを考える。業種・店舗形態・利用者の年齢や属性・街並み・ファサード・など現状の分析より、この街を活性化しサステイナブルな街としていくためのプログラムを各グループで立案する。必要な空間、機能、媒体などを各グループで設定する。

【フェーズ2】

●敷地を選定する。敷地一カ所選定して下さい。現在立っている建物の共同建て替えを前提として下さい。

【フェーズ3】

●具体的に計画する。建築の計画に沿って具体的に設計する。建築計画の場合は想定される商業、イベント気化器の場合はイベントに必要なロゴマーク・家具や食器・サイン・ポスター・地図・スタッフ制服・家具や食器などのプロモーションツールもデザインする。

【フェーズ4】

●プレゼンテーション

フェーズ毎に発表を行う。最終アウトプットは自由。グループのコンセプトにそって美しいプレゼンテーションを行う。ただし、行為や空間がわかる具体的な模型、スケッチ、使用される家具など一般の方々にわかる様な具体的な表現とする。

【フェーズ2】

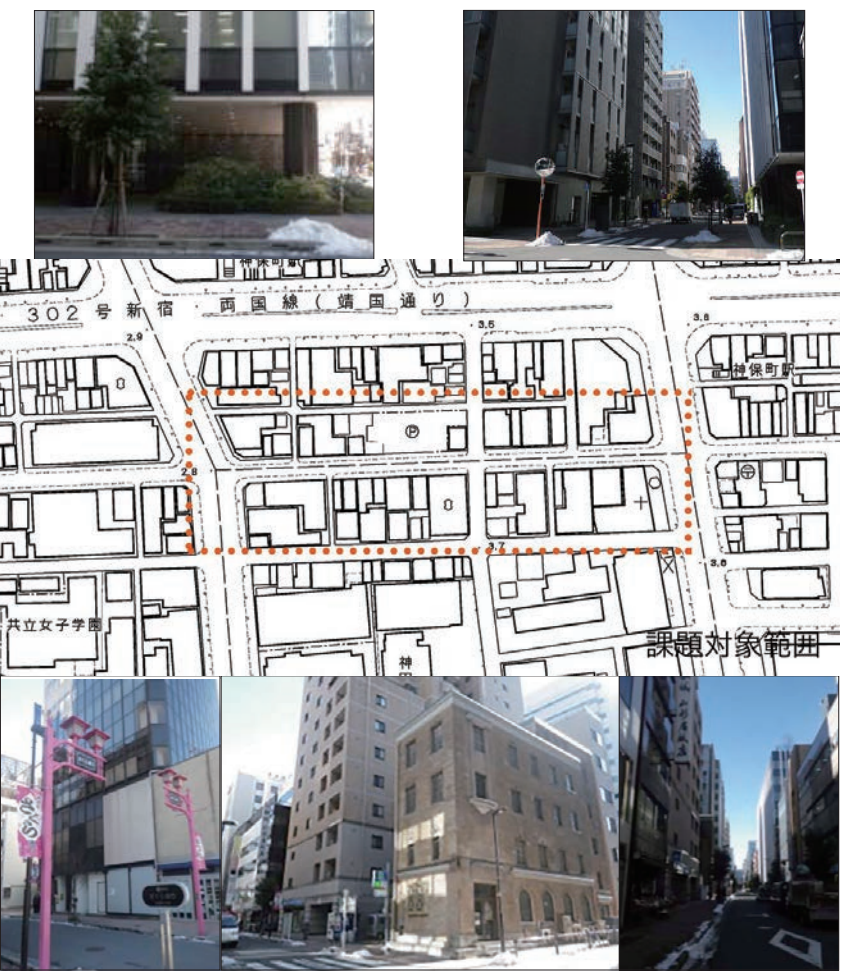
●調査・分析に沿って将来の活性化にも繋がるストリートデザインを考える。

歩道計画、舗装計画、緑化計画、照明計画、ファサード計画、サイン計画、ストリートファニチャー計画、ロゴマーク等のC1計画など活性化しサステイナブルな街としていくために寄与する。

【フェーズ3】

●具体的にデザインする。

計画に沿って必要なアイテムをデザインする。神保町さくら通りの歴史をグラフィカルにデザインし、大型パネルを制作する。（実際に展示できる場所を探し、交渉する。）



神保町 **さくら通り**
Jimbocho
Sakura St.



→ 道路イメージ

さくら通りではボンエルフ効果を利用し、蛇行してできたスペースを利用して小さなスポットを点在させる計画をする。

【道路の詳細】

素材・インターロッキングブロック
歩道のカラー ヘーゼルブラウン・ミルキーホワイト・ローズピンク
車道のカラー ヘーゼルブラウン
これらのカラーを用いてほんのり「さくら」色の通りを目指す。

【ストリートファニチャーデザイン詳細】

木材を用いて桜と調和させ、明かりが灯ってもふんわりした光が隙間から漏れ出るようになっているので周りのお店との調和を図る。

チームメンバー

- 岩井悠 村田朋香
- 浅見朱香 佐々木瑞穂
- 石井純乃 鈴木智絵
- 原川朝妃 永井千尋
- 小嶋あき英 村上瑠菜
- 金子晴香 堀井涼花

さくら通りの現状

・悪い点

高層ビルが立ち並び、歩道ギリギリにビルが建っている為道が暗く、人通りが少ない静かな雰囲気であるが、同時に活気がないと言える。「さくら通り」という名前であるにも関わらず実際に植えられている桜の本数・種類が少ない。オフィス街というイメージが強く、特別印象が残らない。



・良い点

美味しい飲食店や歴史のあるお店があり、「さくら通り」にしかない雰囲気がある。治安が良く落ち着いたイメージがある。

【コンセプト】

「さくら通り」の既存価値を高め通りに人を誘うようなストリートデザイン。既存価値とは、「さくら通り」の由来である九段のさくらを指す。



↑ 提案するさくら通り イメージ図

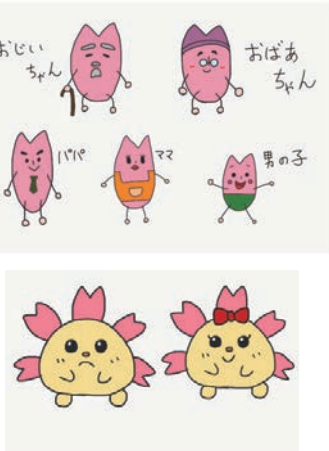
・ボンエルフ効果について

車道を蛇行させることで自動車の速度を下げ、歩行者との共存を図る手法である。これらは、ドライバーに「運転しづらさ」を認識させることで、速度制限をおこなわせるものである。設定速度は 15km 毎時が目安となっている。



→ 街灯イメージ

← マスコットイメージ

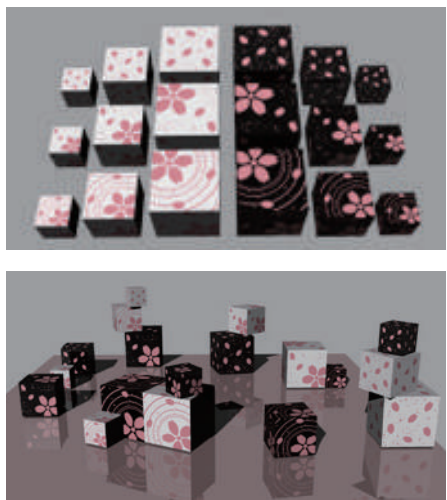


キャラクターコンセプト

さくらの花びらの形をした家族で、手と足は雄しべになっている。5枚揃って手をつなぐと桜の花の形になる。全員が足を上にあげることで雄しべになり、花が完成する。

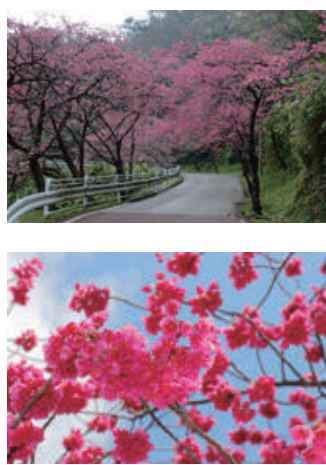
ストラップ

家族の形5種類があって、一つ一つには家族が揃ったときの絵がついている。設定は、さくら通りで千円以上買い物をするキャラクターストラッププレゼント、5種類集めると割引券がもらえる。



・寒緋桜

二月〜三月 樹高 5m 程度
落葉喬木で、葉は単葉互生。葉は秋になると紅葉する。花の色は白から濃い桃色まで様々の個体差がある。1.5-2.5cm 程度。



・オカメ桜

二月〜四月 樹高 5m 程度
オカメザクラは落葉小低木でサクラの園芸品種。イギリスの桜研究家イングラムがカンヒザクラとマメザクラを交配して作出。淡い紅色の一重咲き。花が下を向いているのが特徴。



・十月桜

三月〜五月 樹高 5m 程度
花が四月上旬頃と十月頃の年二回開花する。花は十数枚で、花弁の縁が薄く紅色になる。また萼筒が紅色でつぼ型である。春は開花期に新芽も見られる。また、春のほうが花は大きい。秋口に咲く特徴から紅葉する樹木と共に植えられることもあり、桜と紅葉が楽しめるように設置される事もある。



咲蔵 既存ビルのコンバーション計画



▲神保町さくら通りにあるタイ協会

Bチームは、神保町・さくら通りの現状を調査分析し、理解した上で「さくら通りに新なるさくら通りを活性化させる商業スペースとなる設計」を提案しました。なぜ「酒蔵 咲蔵」を提案するに至ったかの経緯を説明していきます。

まずBチームはさくら通りの現地調査や、歴史についての調査を行いました。

まずさくら通りの歴史についての調査では、以下のことがわかりました。

さくら通りは以前は、神田神保町のすすらん通りに続く通りで名前もすすらん通りでした。戦後の再出発を機に名前を変えました。さくら通りにはバケツリレーで、通りを戦火から防いだというエピソードが残っています。九段下よりの神保町3丁目の通りから徐々にお店が減り始め、通りの中央にあった東洋キネマの解体後にバブル崩壊、それが周辺の商店退却に大きな拍車をかけました。しもた屋や空き地が増えそこにビルが建ち始めました。現在この通りには39店舗ありますが、昭和初期の頃の79店舗からみると半減しています。

そして敷地調査では、

- ・オフィスが多い
- ・変わった飲食店が多い
- ・活気がない↓人が少ない
- ・暗い印象↓高いビルが圧迫感

これらのことが印象に残りました。

これらの調査の結果、Bチームはさくら通りの歴史の深さと、飲食店や、既存の店舗の魅力が豊富に存在することを理解することができました。これらの調査結果を生かし我々は「神保町商業さくら通りの歴史を踏まえ、1階から3階までをさくら通りを活性化させる商業スペースとなる設計が提案できない

4階と5階はオフィスとして活用する方針です。お店の運営方法は独自の日本酒ブランド「咲蔵」を酒造します。1階のカウンターで食前酒として提供し、さくら通り・すすらん通り沿いのお店のおすすりメニューをお通しとして、週替わりで提供します。さくら通り・すすらん通りの飲食店をもっと知ってもらえる機会を提供する狙いを込めて作成しました。これらの運営方式は発案当初の「さくら通りの新たな利用者の獲得を目指しつつも、愛着がありさくら通りの既存の店舗を巻き込んだ新ブランド」の提案に沿った新ブランドの開発を忠実且つ理想的な形で実現できたと

考えています。そして、「咲蔵」のブランディングに関しては、さくら通りの歴史の深さを尊重しつつ、愛着を持てる斬新さも兼ね備えたブランディングをさせていただきました。日本の美しさと桜をイメージしたロゴマークのデザインと着物をイメージした酒瓶のデザインとパッケージデザインは「洗練された日本らしさ」をキーワードに作成し、既存のさくら通りのイメージからかけ離れないように注意しながら且つ新しく愛着を持っていただけるようデザインしました。ユニフォームデザインは女子は桜をイメージ男子は杜氏（とうじ）をイメージして作成しました。デザインに関しては全体的に統一感のある安定したデザインを意識して作成しました。

建築的側面では歴史的価値のある建築物なので、コンバージョン・リノベーションの際の耐震面なども考慮しながら、図面・模型を作成しました。そして尚且つ、酒蔵を観光施設として活用させるための内部の構造についても熟考し、限られた敷地面積での確かな設計を考えました。

そしてこれら作成した模型や図面、調査結果、デザインしたプロダクト製品などの概要を模造紙やパワーポイントによるスライド、ボードなどにわかりやすく且つ美しいレイアウトでまとめ、さくら通り町会の方々に発表させていただきました。

我々Bチームの「さくら通りに酒蔵を建設する。」都会の酒蔵 咲蔵」についてのまとめ展望に関しては、この神保町さくら通りという東京の都会の中心に酒蔵を建設することによりアイデンティティーの強化をすることが出来、新たな観光名所として発展していくことを目的とし、外国人観光客などを取り込みPRの場や話題性を上げることによって神保町さくら通りの知名度の上昇を図り、

か？」という考えに至りました。そこでもう一度さくら通りに関する調査を再開しました。そこで新たな神保町の歴史に関する魅力を見出すに至りました。その魅力とは、神保町には歴史的価値を感じさせる歴史的建造物が内包されている事です。

神保町では学士会館がとても有名ですが、さくら通りにも「矢口書店・タイ協会」という二つの魅力的価値を感じさせる建築物を発見する事ができます。

そして、我々Bチームはこのタイ協会の歴史的価値を活用し、さくら通りの活性化につなげることはできないかと考えました。さくら通りの歴史的価値を尊重しつつ、タイ協会を有効活用するにはどうすれば良いか？

そして、考えの末タイ協会の建築的価値を尊重する最善の方法は、コンバージョンであるという結論に至りました。

コンバージョン案は、タイ協会の歴史的建築物の内部空間のみ手を加えることで、既存の景観を生かしながらも新たな価値を見出すことができる最善の方法であるという結論に至りました。

そして、タイ協会のコンバージョン案が決定し、つぎの課題はさくら通りの既存の店舗を生かしつつ、さくら通りの新たな価値を見出す新ブランドを考えることでした。

我々Bチームはさくら通りの新たな利用者の獲得を目指しつつも、愛着があり且つさくら通りの既存の店舗を巻き込んだ新ブランドを立ち上げるために再度さくら通りの調査を再開しました。

再度の調査ではさくら通りの利用者や既存の店舗の特性を調査しました。

さくら通りの利用者には昼はサラリーマン、OL、学生、高齢者。夜はサラリーマン

その結果さくら通りの集客率を上げ、さくら通りの還元につなげていくことを望みます。そして周辺の店舗などの商品なども活用することによって相乗効果を展望としています。今回の発表を通して、経済面や資金面での考察がもう少し必要であると感じましたが、酒蔵の設計や日本酒が作られるまでの過程の調査や造酒に必要な器具などによる調査は的確にできていると感じました。

今回の建築・デザイン総合演習ではBチームは、「さくら通りに酒蔵を建設する。」都会の酒蔵 咲蔵」というプロジェクトを企画しましたが、建築コースとデザインコースがそれぞれ自分たちの特性や知識を生かし協力してプロジェクトを進め、発表できたと感じました。

それぞれ進めていく点で協力し合い、知識をお互い共有するというこの授業では、授業を重ねていくごとにチームワークがよくなっていることを実感できました。

また実際に身近にある神保町さくら通りの活性化について考え、企画立案をし、実際に住んでいる方々に発表するというとても良い機会を大学の授業で経験できたと考えました。建築の学生とデザインの学生が共に協力する授業はこの授業以外では無いので、お互いにとっても有意義且つお互いを高められるとても良い経験であったと感じました。

ぜひ来年の学生にも、この授業を受けていただき、自分の専門外の知識への新たな見識を深め、建築とデザインの学生間の交流を深めていただきたいと思います。

今回同じチームで共に頑張らせていただいたBチームのメンバーに感謝を表明いたします。



▲作成した模型



▲模型の内部



▲咲蔵の酒瓶のパッケージデザイン



サクシネマ 複合施設の新築計画

チームメンバー

- 板橋歩美 岡川かおり
- 葛西桃子 島崎愛子
- 菅井愛里 鳥飼祐未
- 日熊幸乃 増本瑠子
- 綿貫友香 喜屋武祥子
- 中島水輝



サクラシネマフェスティバル

このサクシネマを利用して映画や演劇の今を発信する「サクラフェスティバル」を企画しようと思いました。さらに通りが主催でそれは幅広い年齢層の人々を巻き込み、最初の日は金土日の3日間の開催を進めるが、そのうち神保町全体を巻き込んだ一週間続く重要なイベントになればいいと思いました。

サクラフェスティバルの参加方法としてはサクシネマでバスポートを購入し、パンフレットの裏に書かれた時間を参考に移動して、サクラフェスティバルに参加している施設や店舗、飲食店に行き、その場所で行っている鑑賞会あるいはワークショップに参加し、映画と演劇を様々な面で楽しむシンプルで分かりやすい仕組みとなっています。



映画タイムスケジュール

昼 (13:00-) / 夜 (19:00-)

- 『ダークシャドウ』 / 『忘れたいと誓った僕がいた』
- 『電とアリス』 / 『ランボー』
- 『ダンサーインザダーク』 / 『紅色はたる〜永遠の夏休み〜』

休演日

- 『アシュラ』 / 『おいしいコーヒーの真実』
- 『アメリカ』 / 『HINOKIO ヒノキオ』
- 『ホラー・エクスペリエンス』 / 『ラブ・アクチュアリー』

演劇タイムスケジュール (学生)

- 2/3,4,5 『ぼく』 (日本大学演劇部)
- 2/10,11 『ロミオとジュリエット』 (さくらとろうぶ)
- 2/16,17,18 『人間失格』 (共立女子大学演劇部)
- 2/24,25 『檸檬』 (早稲田大学演劇部)

→サクシネマで定期的に発行されるパンフレット。今週の予定が書いてあります。

さくら通りの概要

神保町と神保町周辺にはたくさん映画館や劇場があります。昔は東洋シネマ、今は岩波ホールや神保町シアターがあって、映画と演劇の街としても知られていました。しかし神保町は古本、カレーとして有名だが、演劇や映画の文化があることは現代の若者に知られていないのが現状です。その中でも過去東洋シネマのあるさくら通りは映画の面影が薄く、賑わっている大通りとならずに通りとはまた違って、高層ビルが目立ち人影が少ない通りとなっています。

そこで私たちは活気の欠けているさくら通りに再び人々を呼び込み、神保町らしさを取り入れた新築の商業空間を提案しました。

キーワードとターゲット

この場所にいくなかのキーワードを取り入れました。自由に利用できる劇場、街に開いた休憩スペースとこの街の既存な洋食店げんぱち、あと神保町周辺に多くいる学生と会社員と住民。全てを融合した場所となっています。

コンセプト

コンセプトは大きく分けて3つあります。一つ目は、映画に特化した施設を設計すること。映画に関するイベントやグッズ販売などができるような企画を立てること。二つ目は、さくら通り全体を巻き込んで、さくら通り全体を盛り上げるような計画。三つ目は、観光客でも地元の方でもゆっくりできる、会社員や私たちのような学生、家族連れでも気軽に利用できるような建築を作ることです。

設計プロセス

このプロジェクトを進めるにあたって、数々のゾーニングをしながら決定していききました。映画に特化するということと通りを巻

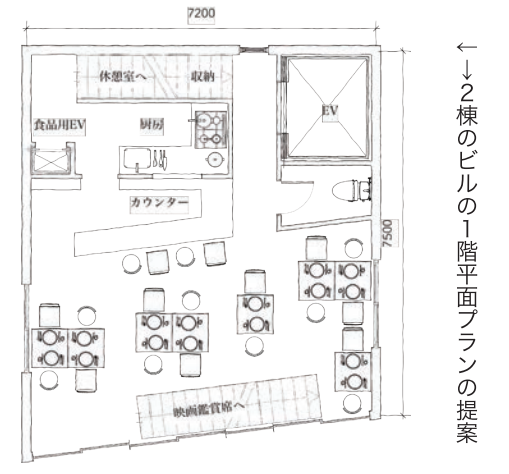
まとめ

これらのプロジェクトを計画していく中、神保町、さくら通りをより深く調べ、この場所の沿革などについて理解すればよかったです感じていました。また具体的な案ではあるが、実際の利用方法についても考案が必要で、これからさくら通り、さらに神保町を盛り上げるにはどうアプローチしていけばいいかまたこれからも考えて行きたいと思いました。



→げんぱちのメニューのリニューアル。元々げんぱちのメニューは豊富でした。

き込む意味で、向かい合う2棟の建て替えを想定し、片側から映像を映し出す計画を考えました。プラスして外国の方のためのゲストハウスと案内所、地元の方も利用できるような休憩スペース、既存のげんぱちにカフェを併設させ、映画を楽しむ環境を整えた案でした。次に考えたプランは、両棟の1階をカフェにして、通りを挟み、さくら通りをより巻き込んだ計画です。また演劇ができるようなレンタルスペースを設けて機能を増やしました。最後に定着したプランは当初から考えていた映像を建物に映し出す「サクシネマ」を採用しました。断面構成としては、げんぱちのあった建物に休憩所兼案内所、映画関連のグッズ販売と受付を設けました。2階以降は演劇に使うことのできるレンタルスペースとその準備室として作業できるスペースにしました。屋上庭園もあります。もう1棟の建物には、1階にげんぱちを移し、2階、3階をカフェスペースとして映し出された映画を観ることが出来ます。4階5階にはプライベートのオーナー宅を設けています。



SAKURA CINEMA FESTIVAL

ワークショップ

「映画を作ってみよう」 (人芸演劇)

「映画を作ってみよう」 (学生演劇)

「ストーリー写真を作ろう」 (演劇ワークショップ)

「映画に映れてみよう」 (ワンダーズ・オブ・アジア特別)

作品一覧

- 洋画 『セシジョン』『6字のボクが、大人になるまで』『華麗なるギャツビー』『インセプション』『英国王のスピーチ』『男と女』『白いリボン』『ゴーストワールド』 など
- 邦画 『東京物語』『ジョセと虎と魚たち』『誰も知らない』『リンドー リンダ』『パンダコパンダ』『台風クラブ』 など
- 自作映画 『ゆうちんのお誕生日』(ドキュメンタリー) 『月』(コメディ) など
- 演劇 『ロミオとジュリエット』『人間にならなかった僕』『マクベス』『ハムレット』『カモメ』『子犬のうんち』『オズの魔法使い』
- 自作演劇 『わたしとあなた』(さくら通りより) 『甘党だどしどし、小せじ〜絆〜』(舞台美術研究会) 『ベストナッシュの彼女』(劇團くるるシアター)

アクセス

参加店舗一覧

マップ

リストバンド購入方法

計画敷地



2017年度 最終講評会

建築 デザイン & 総合演習

平成三十年一月二十七日十三時三十分より
二号館プレゼンテーションエリアにて、建築・
デザイン総合演習最終講評会が開催され、地
元の商店会・千代田区役所・千代田区観光協
会・信用金庫・神田学会などからオブザーバー
として多数の方々が出席された。

まず堀先生より、本演習は昨年度まではす
ずらん通りを対象にしていたが、今回は趣向
を変えて白山通りを挟んださくら通りを対象
にプロジェクトを行ったこと、地域と連携す
ることによってこのプロジェクトが成り立っ
ていること、建築コース・デザインコースが
一緒に課題解決をする唯一の授業であると
いった概要説明があった。

今年度発表した三チームは、車道のポンエ
ルフ化による桜の植樹スペースや歩道の舗装
パターン・ベンチ・照明なども含むストリー
トデザインの提案、古くからある既存建物の
コンバージョンを行い酒蔵を取り入れた日本
酒のブランディングと居酒屋の提案、新築建
物による映画・演劇文化の場とゲストハウス
の計画による通りを挟んだふたつの建物の提
案といった、それぞれ異なるテーマで発表を
行った。

△Bグループ

計画対象となる昭和初期の非常に繊細な趣を
持ったかつての銀行（日本タイ協会）の存在
は知っていたが、閉鎖的であるがゆえに通
りから中の様子を伺うことが出来ずというオ
ブザーの意見が非常に多かった。日本酒を
醸造する体験型酒蔵を入れることで人の流れ
を中に引き込むことが可能となるこの案は、
さくら通りに人々のアクティビティがにじ
み出す面白さをもっているのではないかと、赤
レンガ倉庫を彷彿させるような場があれば
是非とも立ち寄ってみたい、などという意見
が出た。また、神田で日本酒を醸造してい
るお店の存在やさくら色の日本酒を醸造す
るヒントなどもあった。



△Aグループ
女子大生らしい提案に好感が持てたという意
見が多かったが、桜の維持や電線地中化の際
に倒木などの危険性を考慮して桜の植樹を断
念した経緯など、現実的な問題も指摘された。
しかし、「さくら」という名称の付いた通り
をよりそれらしく見せようとする学生らしい
アイデアは斬新であり、足下や植栽の間に灯
籠を置くという提案に対しても高い評価が得
られ、灯籠の和紙をさくら通りにある紙店と
コラボレーションすれば、地域連携という観
点からもより面白くなるのではないかと
意見をいただいた。



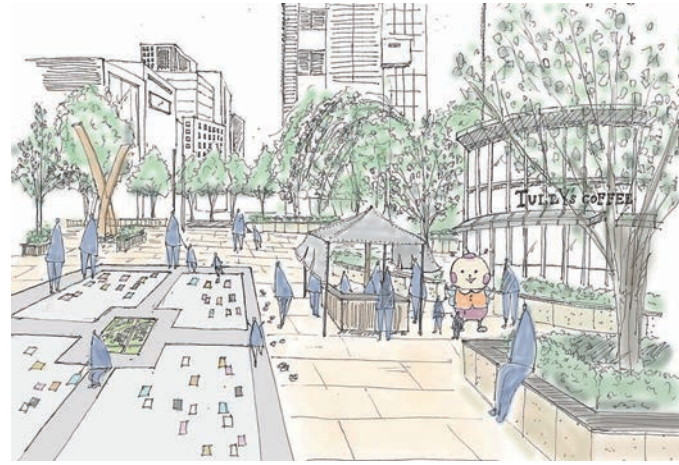
△Cグループ

さくら通りを挟んで二棟の建物を計画する
というものである。一棟は劇場を主体とした文
化施設、もう一棟は最上階にオーナー住居が
あるゲストハウスであり、ゲストハウス側か
ら文化施設の壁面にプロジェクターで映画を
投影するというアイデアの斬新さにオブザー
バーの方々の注目が集まった。ハードだけ
なく映画や演劇といったかつてのさくら通り
を彷彿させるソフトウェアの提案についても
高い評価を得ていた。二棟の建物カフェ・
劇場・ゲストハウス・観光案内所・オーナー
住居といった様々なプログラムを組み込んで
いることや、一階の足下部分を飲食店として
まちなかに開く提案についても面白いとの意
見が多く出た。



最後に林田先生より、今回の提案を現実化す
ることは非常に難しいかもしれないが、夢を
持ち続け提案し続けることの大切さと、その
中からなにかひとつでも実現できれば地域の
役に立てるのではないかと、この総評でこの講
評会は幕を閉じた。

2016年度に発案された5つの企画のうち、地元の方々から最も実現性があると評価を得たのが、フォトコンテスト。だった。昨年の「フォトコンテスト」をベースに共立祭で実現可能な企画を3グループで提案、提案内容を全員で議論統合し企画を決定した。スケッチは昨年の企画イメージである。今回の企画内容は次の通りである。イベントには多くの方々に参加いただき好評だった。共立祭に来た方々に神保町の魅力を知ってもらいたい、少しでも神保町に興味を持ってもらえたのではないかなと思う。



2017年度 共立祭 展示発表 地図班

チームメンバー

岩井悠 村田朋香
浅見朱香 佐々木瑞穂
石井絢乃 鈴木智絵
原川朝妃 永井千尋
小嶋あき 英村上瑠菜
金子晴香 堀井涼花



2017年度 共立祭 展示発表 広報班

チームメンバー

板橋歩美 岡川かおり
葛西桃子 島崎愛子
菅井愛里 鳥飼祐未
日熊幸乃 増本瑠子
綿貫友香 喜屋武祥子
中島水輝

・共立フォトコンテストのコンセプト
神保町には多くの魅力があります。例えば開かれた図書館のような古本街、本を眺める人々、スポーツ用品や楽器屋、選びきれないほど多い飲食店、懐かしい街並みなどと、神保町ならではの雰囲気を楽しむことができます。それだけでなく、暖かい人々にも出会える場所である。

そこでこの街の魅力を発信しよう今回は「あなたにとっての神保町の魅力を写真で共有しよう」という呼びかけで共立生が自分たちだけが知っている街の魅力を撮影し、実際に街並みを体験してもらおう企画を考えました。

広報班はSNSを利用し、共立祭でこのようなイベントを行うことに対し情報発信し、写真を学内で募集することもしました。また、当日を含め、全体の流れとスケジュールの確定を行いました。

・イベント内容
街並みを表現した空間の中に共立生が撮影した500枚以上の写真を配置し、また見学にいらした方にシールを渡して自分の好きな写真にシールを貼っていく方式を取りました。写真の選び方の基準をあえて設定せずに、来場者に理解しやすい上自由にこの空間を楽しんでもらうことにしました。

500枚の写真から特に優れた写真を予め20枚選び、これも来場者に一番いいと思っただ写真にシールを貼っていただきました。当日では多くの方がいらして、シンプルな企画ではあるが、予想以上に来場者は興味を持って、企画について私たち運営者に話しかけることが多く見られました。

また、展示に合わせてフォトラリーも開催しました。神保町の街を実際に体感してもらうため、10箇所(三省堂・小学館・文房堂・山形屋紙店など)をフォトスポットとし、

神保町 Photo Contest

家政学部 建築 & デザイン 総合演習



街をチームで話し合い範囲を決め、その決めた神保町のまちの範囲をダンボールで模型化し作成しました。十分の一の縮尺でまちを模型化するにあたり材料決めや、どのくらいの範囲を模型化するのかなど話し合いを重ね、右の写真からわかるるように、地図を何個かのグループに分けて作成していきました。

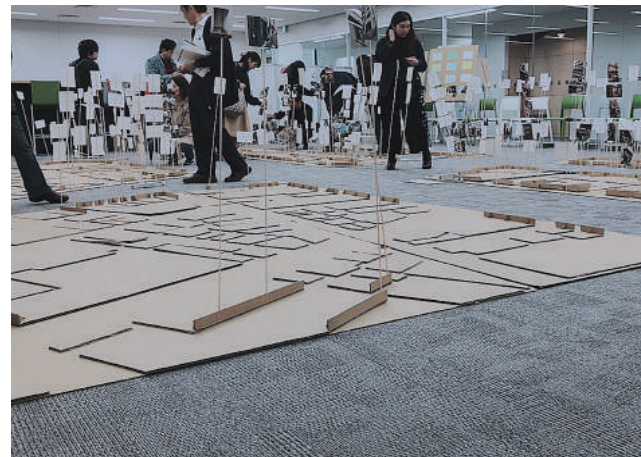
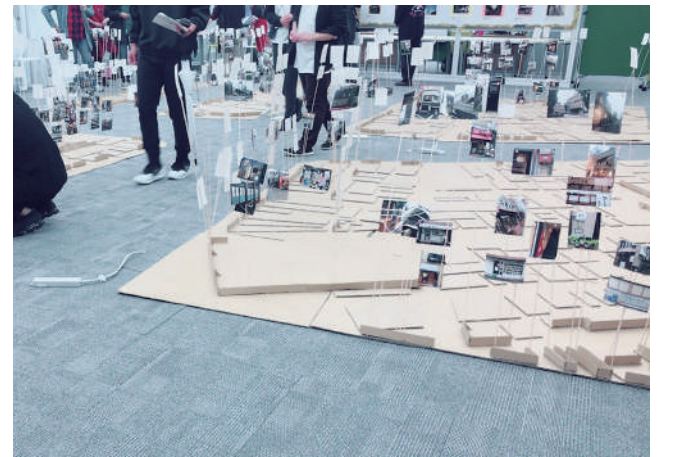
共立祭当日は、事前に共立生が神保町で撮影した写真をその撮った場所と同じ形で展示しました。地図を模型化することで、当日にいらした方々から、普段何気なく歩いているまちを上から見ることでできて面白い、こんなところこんな店があるのは知らなかったなどの意見がありました。模型からまちをイメージすることで、歩いている時とはまた違う新たな発見がありとても良かったと思います。

上写真のじんぼうチョウビスコは、このイベントのために神保町の既存のキャラクターと文字を自分たちでパッケージにいれることを決め発注したビスコで、当日いらした方々に配ったものです。

その中から4つのスポット周辺の写真を撮り会場まで持ち込んでいただいで賞品と引き換える企画となります。普段見つかからないような魅力を発見できるはずだと考えました。このフォトラリーに参加する方も大勢いらっしやいました。当日展示スペースにはフォトラリーで撮っていただいた写真を飾れる特別ブースも設置しました。

・広報方法

- ① SNS (ツイッター、インスタグラム、ブログでアカウントを作り、情報発信のほか写真の募集、投票を行いました。)
- ② フライヤー (学内で写真募集とイベントの詳細、QRコードなども載せました。)
- ③ パンフレット (フォトラリーの詳細が載っています)



当日の作った展示会の様子



・広報で用意したもの

- ① 写真500枚
- ② フライヤー、SNSアカウント
- ③ 当日写真印刷用のプリンター
- ④ 写真用の台紙

・まとめ
今回の企画により、来場者と私たち運営者は自然と交流し、神保町の活性化について話し合うチャンスが与えられていました。来場者は写真が好き、街が好き、本が好き、神保町が好き、様々な思いを持っていました。こうした思いがフォトコンテストを通じて分かち合えるようになったことに対し、私たち運営者も新たにこの企画の意味を見出しました。

当日までの準備時間が短く、実際に準備を始めてから思い至らない部分がたくさんありました。それでも今後神保町の魅力を伝える際、今回の反省を生かして人々の心に残るような企画をまた続けていけたら幸いです。

平成29年度 建築&デザイン総合演習
 神保町の魅力を探り、街を元気にするプロジェクト

神保町 さくら通り

テーマ1：さくら通りストリートデザイン

Aグループ 「ストリートデザイン」

堀井涼花 石井絢乃 岩井悠 小嶋あき英 金子晴香 佐々木瑞穂
 鈴木智絵 永井千尋 原川朝妃 村田朋香 浅見朱香 村上瑠菜

テーマ2：商業スペースを含む共同の建て替え

Bグループ 「咲蔵～既存ビルのコンバージョン計画」

石田愛里紗 大山華奈 加賀あかり 清水美沙 新道香織 伊達由美子
 永田 萌 橋本枝美里 山野春菜 小澤麻帆 豊田明日香

Cグループ 「サクシネマ～複合施設の新築計画」

板橋歩美 岡川かおり 葛西桃子 島崎愛子 菅井愛里 鳥飼祐未
 日熊幸乃 増本瑤子 綿貫友香 喜屋武祥子 中島水輝

教員

堀 啓二 林田廣伸 高橋大輔

助手

メイン奏 林 理央



巾着

チームメンバー
 石田愛里紗 大山華奈 加賀あかり
 清水美沙 新道香織 伊達由美子
 永田萌 橋本枝美里 山野春菜
 豊田明日香 小澤麻帆

2017年度 共立祭 展示発表

グッズ
 ユニフォーム班



参加してくれた人への景品として一つ目に考えたのがこのビスコです。じんぼうちヨウがデザインされており、このイベントに参加しないと手に入らない限定品です。おやつにも最適で子供にも喜んでもらえるものになったと思います。

ビスコ

景品として二つ目に考えたのがこの巾着です。じんぼうちヨウモチーフで女子大らしく可愛いデザインになりました。日常的に使いやすいと、貰うと嬉しい！ビスコと同じく限定品としてたくさんの人に喜んで頂けました。



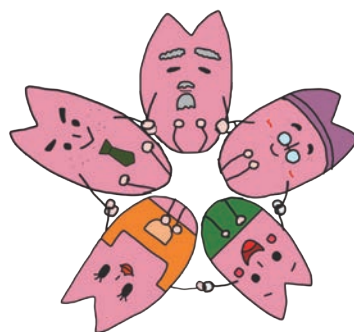
会場にいた時にスタッフだと分かりやすくするため、お揃いの衣装を製作しました。コストも抑えて作れるものを探した結果、かっこいいえんじ色のエプロンになりました。胸元にはロゴがあしらわれ、両サイドのポケットは大容量で実用的です。

エプロン



写真に投票してもらった時にも普通のシールではなく、せっかくならオリジナルのものを使用したいと思い作りました。ここにもじんぼうちヨウの顔をモチーフに丸いシールをつくりました。

シール



平成29年度 共立女子大学家政学部 建築・デザイン学科
建築&デザイン総合演習 報告書



▲ 昭和30年代頃の「さくら通り」入口を飾った最初のネオンサイン



▲ 平成30年2月現在の「さくら通り」入口